

ときめき人

Tokimeki bito



目標は全国制覇
無限の可能性を秘め
さらなる飛躍を
胸に誓う

南方町・山成

高橋 優音さん

たかはし ゆおん
2012年生まれ

「メンバーに選ばれたと聞いた瞬間は信じられませんでした。とてもうれしかったです」と高橋さんは笑顔を見せた。

日本野球機構(NPB)とプロ野球12球団が連携し「子どもたちが『プロ野球への夢』という目標をより身近に持てるように」と開催している「NPB12球団ジュニアトーナメント」。この大会に出場する楽天イーグルスジュニアは、東北6県とその近隣県の小学5・6年生の応募者の中から、セレクションを通じて出場選手16人を選出。狭き門を突破し、南方小6年の高橋さんが選ばれた。

高橋さんは、2年生の時に父親の知り合いが監督を務める少年野球チームで体験したことがきっかけで野球を始めた。「最初野球には興味がなくて

サッカーを習おうと思ってましたが、体験してみたらすごく面白くて夢中になりました」と振り返る。チームでの練習のほか、家でもバッティング練習や体幹トレーニングなどを重ね、県内でも注目される選手に成長。自分の力がどこまで通用するか試してみたいとセレクションに応募した。

「ジュニアトーナメントでは、目標の優勝には届きませんでしたが、レベルの高い仲間と過ごした時間は貴重な経験でしたし、目標を具体的に持つことが夢を実現するために大切だと感じました。次は楽天イーグルスの中学硬式野球チームでプレーする予定なので、このユニフォームを着て全国優勝することが目標です」。無限の可能性を秘めた野球少年は、新たなステージでの飛躍を誓う。

編集後記

▼晴れやかな天候のもと開催された二十歳の集い。会場は、振り袖やはかま、スーツなどに身を包み、再会を喜ぶ出席者の輝く笑顔で満ちあふれていました。二十歳の門出を祝う「ハレの日」を迎えた皆さんのこれから、の人生が、幸多きものとなるよう心よりお祈り申し上げます。(添田)

▼未来新聞コンクール取材。登米市の課題を把握し、小学生らしい自由な発想で解決策がまとめられ、大きな声で堂々と発表する姿が素晴らしかったです。原稿に悩む日々。そんな私にも小学生時代はあったはず。あの頃の発想力はどこにいったんだろ。(高橋)

▼毎年大人気の絵画ワークショップ。受講生の皆さんが、キャンバスに絵の具を重ねていく様子を間近で見ていると、完成作品が展示される「登展」が今から楽しみで仕方ありません。同時に、自分も油絵を描いてみたいと思いました。来年は私も挑戦してみようかな。(渡邊)

登米市公式ホームページ
<https://www.city.tome.miyagi.jp/>

登米市メール配信サービス
(防犯や防災、市政に関する情報などを配信)
<https://plus.sugumail.com/usr/tome/home>

登米市公式LINE
(市政、イベント情報などを配信)
<https://line.me/R/ti/p/%40972tqqam>



広報とめ (3月号)

発行日/令和7年2月19日 発行/登米市
〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1

編集/総務部市長公室 広報広聴係

TEL 0220-22-2090 FAX 0220-22-9164
E-mail:koho@city.tome.miyagi.jp 印刷/川内印刷株式会社

「私に」伝える情報紙
市が魅力を、価値を、エネルギーを

To Me

3

Mar 2025 Vol.358